事業番号 1014

														于木	· H	<u> </u>			VIT	ř	
						平成2	3 :	年行政	事業	レ	ビュ	ーシ	/—	<b>\</b>			国)	土る	を通	省)	
事	業名	名 沿道騒音の環境改		)環境改善(	<b>きに関する対策検討業務</b>			担当部局庁		ì	道路局							作月	<b>支責</b> 任	責任者	
	事業開始・ 終了(予定)年度		H23/H24				担当課室		3	環境安全課 道路		路環境調査室		10.0	室長	岡	邦彦				
会計区分		一般会計				施策名				2-5	快適	な道語	烙環境	等を創	削造す	る					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		融自規制法第10宋、第17宋					関係する通知	等		-											
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)		沿道騒音については、着実に環境改善が図られてきたが、平成21年現在、全国で約1割の住戸が騒音に係る環境基準を達成していない等、特定の地域において、非達成の地域が存在している状況にある。このため、各種対策の効果を適切に把握し、効果的・効率的に対策を実施することで、道路管理者等が実施してきた沿道騒音対策について、対策効果を把握するとともに、今後の環境基準達成に向けた対策の立案等の検討を行う。																			
(5行	<b>準概要</b> 程度以 引添可)	特定	の地域に るために	こおける新た	こな沿	いては、対策が 道騒音改善の が各種対策の	)方領	食を早急に	食討す	る必	要がな	ある。こ	このた	<u>:</u> め、本	検討	では、。	より交	<b>小率的</b>	な騒	音対領	きに
実施	方法	□直接実施			■業務委託等			口補助	□貸付  □				その他								
					20年度			21年度	年度		22年度			23年		度		24年度要求			
		予 当社		0予算		_		_	_		_			20		20	19				
32.44	<b>車額・</b> 行額	算			_		_	_		_			0		0						
執		状	状   繰越し等		_		_		_			0		0							
(単位:	百万円)	況	沿計			-	_		_			20		20	19						
		執行額			-			_		_											
		執行率(%)			-			_		_											
成果目標及び成果実績(アウトカム)		成果指標						単位	Z	20年	度		21年度	ŧ	22	2年度	Ę	(	標値 年度		
		理培	甘淮运口	かに向けたさ	対等の立家			成果実績			-	-		_			-			-	
		環境基準達成に向けた対策の立案					達成度	%		-	-		_			-			/		
活動指標及び活動実績(アウトブット)		活動指標							単位	Z	20年	度		21年度 22年月			2年度	度 23年度活動見込			
		道路事業における沿道騒音にかかる調査を実 施						活動実績 (当初見込 み)			_	-		_		,	_	,	,	_	,
								<b>07</b> -7								(	_	)	(		)
単位当たり コスト				-	_			算出根拠													
	1	2 目 2		23年度当初	度当初予算 24年度要求								主なは	曽減理	由						
平成 2 3 · 2 4 年	道路環境	境等対策費			20		19							_							
年度予算内訳	計				20		19														
		HI		ı	20																

		事業所管部局による点検						
	評価	項目	特記事項					
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。						
状・況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。						
算の		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。						
資金		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。						
の		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。						
使れ、		受益者との負担関係は妥当であるか。						
費		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。						
目・		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。						
活		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。						
動実		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。						
績、		活動実績は見込みに見合ったものであるか。						
成果実		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。						
実績		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。						
	が騒音に	- 交通による騒音については、対策が着実に進められ年々改善傾向にある: :係る環境基準を達成していない。また、公害訴訟において沿道騒音の被害 な沿道騒音改善方策を検討する必要がある。						
点検結果								
		マ質配相 地中ルイ ノのご見						
	12	<b>予算監視・効率化チームの所見</b> 本調査で得たデータや低減効果の検討結果を活用し、全国的に効率的な関	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■					
		国に効果的な周知を図る。						
	2							
	i	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)					
		補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となってし	、7個人は2の仕用+智力)					
		<b>相記 (週云に争来仕がけ・公開ノロゼス寺の対象となって)</b>	・ の場合はての相条も記載/					